

日本整形外科学会教育研修単位 一覧

※印のある項目：現地開催のシンポジウム、パネルディスカッション、特別企画の総論として位置付けられている教育研修講演。これらの教育研修講演のWeb視聴は「Web学会(2/10～3/31)」にて可能です。

その他の教育研修講演のWeb視聴は「現地内容オンデマンド配信(2/20～3/31)」にて可能です。

教育研修講演

★オンデマンドあり

日時	会場	セッション名	演題名	講師	抄録	単位 種別	必須 分野	日整会 認定番号 22-1701		
17日 (金)	8:15～9:15	第1会場	教育研修講演1*	人工股関節研究のすすめ： バイオメカニクス研究の醍醐味	大谷 卓也	P.323	N	1	001	★ 2/10 ～3/31
				人工膝関節研究のすすめ： バイオメカニクス研究の面白さ	松田 秀一	P.323				
	13:30～14:30	第1会場	教育研修講演2*	拘束型人工膝関節 ー過去、現在そして将来ー	王寺 享弘	P.332	N	12	021	★ 2/10 ～3/31
	8:15～9:15	第2会場	教育研修講演3*	セメント人工股関節導入に際して 確認しておくべき骨セメントの 基礎的知識とノウハウ	飯田 哲	P.325	N	11	002	★ 2/10 ～3/31
				セメントTHA(ステム/カップ) ー基本手技と留意点ー	高木 理彰	P.325				
	8:15～9:15	第3会場	教育研修講演4*	外側進入型人工足関節置換術に おける解剖学的注意点	栃木 祐樹	P.328	N	1,12	003	★ 2/10 ～3/31
				前方アプローチを用いて行う人工 足関節置換術に必要な解剖と手技 上の注意点	谷口 晃	P.329				
	8:15～9:15	第4会場	教育研修講演5*	正確な TKA への軌跡： 術中指標、手術器具からCASまで	眞島 任史	P.327	N	12	005	★ 2/10 ～3/31
	13:30～14:30	第4会場	教育研修講演6*	人工肩関節(TSA: Total Shoulder Arthroplasty)の理解に必要な機能 解剖とバイオメカニクス	池上 博泰	P.328	N	1,9	022	★ 2/10 ～3/31
	8:15～9:15	第5会場	教育研修講演7	前方アプローチを用いたTHAの 軟部組織マネージメント	川崎 雅史	P.573	N	11	004	★ 3/1 ～3/31
				股関節後方capsular complex 機能を温存するための関節包切開 と修復法	坂越 大悟	P.573				
	9:30～10:30	第5会場	教育研修講演8	立体で考える人工股関節全置換術 の術前計画	徳永 邦彦	P.574	N	1,11	006	★ 3/1 ～3/31
10:45～11:45	第5会場	教育研修講演9	TKA術後痛への挑戦 ～急性痛から遷延痛まで～	池内 昌彦	P.574	N	1,12	007	★ 3/1 ～3/31	
13:30～14:30	第5会場	教育研修講演10	臨床研究を紐解く統計学	新谷 歩	P.575	N	14-5	020	★ 3/1 ～3/31	
			人工関節分野における英語論文の 書き方	松本 知之	P.575					
14:45～15:45	第5会場	教育研修講演11	人工関節周囲感染の診断と治療： 抗菌薬選択	塚田 幸行	P.576	N	6,12	023	★ 3/1 ～3/31	
16:00～17:00	第5会場	教育研修講演12	変形性関節症における再生医療 ～“魔法の治療”でも“まやかしの治 療”でもない再生医療の実際～	桑沢 綾乃	P.576	N	1,12	024	★ 3/1 ～3/31	
18日 (土)	8:00～9:00	第1会場	教育研修講演13*	人工股関節開発の歴史： パフォーマンスを向上させてきた テクノロジーとテクニック	松原 正明	P.324	N,Re	1	026	★ 2/10 ～3/31
				人工膝関節開発の歴史： パフォーマンス向上を目指した デザインとテクノロジー	赤木 将男	P.324				

18日 (土)	13:15~14:15	第1会場	教育研修講演14*	セメントレスシステムのタイプ分類と理論的長所・課題	中田 活也	P.330	N	11	040	★ 2/10 ~3/31
				セメントシステムのタイプ分類と長所・短所	兼氏 歩	P.330				
	8:00~9:00	第2会場	教育研修講演15*	術後成績向上を目指したTKAアライメント理論/ギャップ理論の変遷	岡崎 賢	P.332	N	12	027	★ 2/10 ~3/31
	13:15~14:15	第2会場	教育研修講演16*	さまざまなTKAとUKA:インプラント開発の歴史とデザイン	福島 重宣	P.327	N	1,12	042	★ 2/10 ~3/31
	8:00~9:00	第3会場	教育研修講演17*	人工股関節ステム周囲骨折に対する骨接合術の適応と注意点	澤口 毅	P.326	N	2,11	025	★ 2/10 ~3/31
				人工股関節周囲骨折に対する治療戦略	稗 賢一	P.326				
	13:15~14:15	第3会場	教育研修講演18*	これを理解せずに先に進むべからず:THAの基本とテクニック	中島 康晴	P.331	N,Re	11	041	★ 2/10 ~3/31
				股関節外科におけるAI, XR, ナビ、ロボット活用の現状と展望	高尾 正樹	P.331				
	8:00~9:00	第4会場	教育研修講演19*	上腕骨近位部骨折に対するHHRとRSAの適応と術前計画の実際	橋口 宏	P.333	N	2,9	028	★ 2/10 ~3/31
	13:15~14:15	第4会場	教育研修講演20*	人工手関節を理解するために:手関節の解剖、バイオメカニクスと開発の歴史	三浪 明男	P.329	N	6,10	043	★ 2/10 ~3/31
8:00~9:00	第5会場	教育研修講演21	THA後のARMDの診断と治療	島 直子	P.577	N	11	029	★ 2/20 ~3/31	
9:15~10:15	第5会場	教育研修講演22	セメントシステムによる骨温存・再編を目指す大腿骨側再建テクニック	大川 孝浩	P.577	N	11	030	★ 3/1 ~3/31	
			人工股関節置再置換術の大腿骨側再建テクニック -セメントレスの再建手技と限界-	内山 勝文	P.578					
10:30~11:30	第5会場	教育研修講演23	人工膝関節置再置換術の治療戦略-高度変形膝へのアプローチも含めて-	阿部 信寛	P.578	N	12	031	★ 2/20 ~3/31	

ランチョンセミナー (P28「ランチョンセミナー整理券について」をご覧ください)

日時	会場	セッション名	演題名	講師	抄録	単位種別	必須分野	日整会認定番号 17-2922-		
17日 (金)	12:00~13:00	第1会場	ランチョンセミナー1	加齢に伴う骨代謝・骨質の変化を理解し、人工関節術前後にできることを考える	斎藤 充	P.581	N	1,4	012	
		第2会場	ランチョンセミナー2	変わりゆくTKAのトレンド:パラダイムシフトが生じているのか?	岡崎 賢	P.581	N	12	013	★ 3/1 ~3/31
		第3会場	ランチョンセミナー3	3Dプリンターを用いた股関節インプラント	菅野 伸彦	P.582	N	1,11	014	
		第4会場	ランチョンセミナー4	関節包靭帯のkinematicsを再現するAR NAVI assisted CPP-DHA ~脱臼抵抗性だけじゃない!! 関節包靭帯の機能温存がもたらす様々なメリットとは?~	坂越 大悟	P.582	N	11	009	
				Forgotten joint を目指したAL-Supine THAアプローチ ~皮切からインプラント設置まで~	赤石 孝一	P.583				
		第5会場	ランチョンセミナー5	Reimagining Knee Restoration with the combination of implant, technique and technology	Ryan Nunley	P.583	N	1,12	015	
第6会場	ランチョンセミナー6	最も合理的な人工股関節全置換術を目指して -何が必須で何が不要なのか-	橘田 祐樹	P.584	N	11,13	016	★ 3/1 ~3/31		

17日 (金)	12:00~13:00	第7会場	ランチョンセミナー7	Revision THA and Removal of Well Fixed HA Coated Stems: How I Do It	Vishal Hegde	P.584	N	11	017		
		第8会場	ランチョンセミナー8	Curved Short Stemその現状と今後の展望ー完全筋腱温存を目指したTHAの世界ー	平澤 直之	P.585	N	11	010		
				Usefulness of RM pressfit vitamys and optimys for the bone preservation	Naeder Helmy	P.585					
		第9会場	ランチョンセミナー9	Curved Short Stemの使い方ー何のために、どう使うのかー	縄田 昌司	P.586	N	11	019		
		第10会場	ランチョンセミナー10	Medial-Pivot TKAを選んだ理由ー臨床医としてTKAに何を求めるか?ー	畑山 和久	P.586	N	12	018		
展示場 特設会場	ランチョンセミナー11	NEXTAR: the white knight of modern total knee arthroplasty technology	Geert Peersman	P.587	N	1,12	011	★	3/1 ~3/31		
		NextAR: AR技術を用いたCT Based サージカルガイダンスシステムによるTKA	石田 一成	P.587							
18日 (土)	11:45~12:45	第1会場	ランチョンセミナー12	TKAアライメントー近年のアップデートと Functional Alignmentー	中川 匠	P.588	N	12	032	★	3/1 ~3/31
				Robotic arm assisted surgery and functional alignment in TKA	Gavin Clark	P.588					
		第2会場	ランチョンセミナー13	THAとTKAにおけるERASー患者と医師、スタッフの満足度向上のためにー	横山 徳一	P.589	N	11,12	033	★	3/1 ~3/31
				人工関節手術における創縫合のエビデンスおよびEnhanced Recovery After Surgery	塚田 幸行	P.589					
		第3会場	ランチョンセミナー14	Personalized TKA×Kinematic Retainingー新時代のTKA:手術成功の鍵とPitfallsー	日野 和典	P.590	N	12	037		
		第5会場	ランチョンセミナー16	ゼロから始めて1時間でマスターセメントTHA・人工骨頭 1. 実践編	岩瀬 敏樹	P.591	N	2,11	008		
				ゼロから始めて1時間でマスターセメントTHA・人工骨頭 2. 基礎編	藤田 裕	P.591					
		第6会場	ランチョンセミナー17	新しいコンセプトのステムーCompaction wedge stemーの特性を知る	林 申也	P.592	N	11	035	★	3/1 ~3/31
				Compaction wedge stemの短期臨床成績	金 光成	P.592					
		第7会場	ランチョンセミナー18	Personalized Alignmentーロボット手術に至る歴史的考察ー	難波 良文	P.593	N	12	034		
Robotic-Arm Assisted Kinematically Aligned TKA の短期成績と課題	椎木 栄一			P.593							
第8会場	ランチョンセミナー19	The Direct Anterior Approach for Total Hip Arthroplasty. History, Advantages, and Complications. Technical Pearls for Success	Aaron Salyapongse	P.594	N,Re	11	038				
第9会場	ランチョンセミナー20	ガバベンチノイドの可能性と課題	山口 重樹	P.594	N	1,8	039				

18日 (土)	11:45~12:45	第10会場	ランチョンセミナー21	Curved-Short Stemの固定性と 低侵襲THA -Portalを使用した ALS アプローチとステム選択-	藤井 英紀	P.595	N	11	036
				ALSアプローチにおけるCurved short stemとPATH systemを使用 したTHAの可能性	赤石 孝一	P.595			

<日本整形外科学会専門医資格継続必須分野番号>

- (S) スポーツ単位
- (R) リウマチ単位
- (SS) 脊椎脊髄病単位
- (Re) 運動器リハビリテーション単位
- [1] 整形外科基礎科学
- [2] 外傷性疾患 (スポーツ障害を含む)
- [3] 小児整形外科疾患 (先天異常、骨系統疾患を含む、ただし外傷を除く)
- [4] 代謝性骨疾患 (骨粗鬆症を含む)
- [5] 骨・軟部腫瘍
- [6] リウマチ性疾患、感染症
- [7] 脊椎・脊髄疾患
- [8] 神経・筋疾患 (末梢神経麻痺を含む)
- [9] 肩甲帯・肩・肘関節疾患
- [10] 手関節・手疾患 (外傷を含む)
- [11] 骨盤・股関節疾患
- [12] 膝・足関節・足疾患
- [13] リハビリテーション (理学療法、義肢装具を含む)
- [14-5] 医学全般にわたる講演会などで、14-1 ~ 14-4 に当てはまらないもの